

■特別会計の状況【表3】

(単位：千円)

区 分	現計予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	
国民健康保険特別会計	1,432,908	571,658	39.9%	596,532	41.6%	
後期高齢者医療特別会計	158,100	78,409	49.6%	36,368	23.0%	
介護保険特別会計	1,014,783	432,495	42.6%	404,279	39.8%	
簡易水道事業特別会計	100,300	41,211	41.1%	38,703	38.6%	
公共下水道事業特別会計	371,200	195,420	52.6%	107,722	29.0%	
農業集落排水事業特別会計	74,200	34,796	46.9%	29,604	39.9%	
水道事業会計	収益的収入	251,956	125,815	49.9%	-	-
	収益的支出	199,420	-	-	44,671	22.4%
	資本的収入	81,486	2,893	3.6%	-	-
	資本的支出	124,174	-	-	13,841	11.1%

■基金の状況【表4】

(単位：千円)

基金名	24年9月30日現在
財政調整基金	767,875
高額療養費貸付基金	3,226
土地開発基金	294,000
国民健康保険基金	89,711
養護老人ホーム福祉事業基金	309
減債基金	74,622
杉原千畝記念基金	8,247
新丸山ダム対策基金	55,538
地域福祉基金	220,311
ふるさと水と土基金	10,136
吉田茂国際交流基金	84,741
明日のまちづくり基金	544,599
介護給付費準備基金	46,339
介護従事者処遇改善基金	585
収入印紙等購買基金	500
合 計	2,200,739

※町民1人当たり約18万1千円【9月末現在】

■町債と基金

道路や下水道など、生活基盤の整備には一度に多額の費用が必要となります。町債は、こうした公共施設整備のために県知事の同意を得たうえで、国や金融機関から借り入れできる町の資金です。

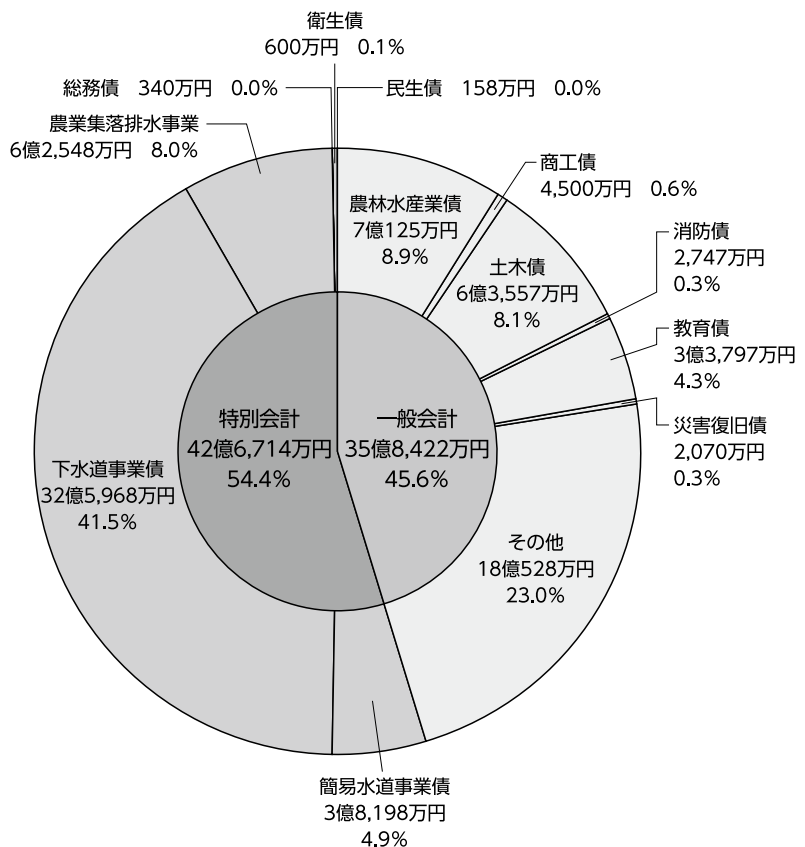
町債は目的（用途）別に分けられ、学校建設の町債であれば教育債、町道整備のための町債であれば土木債となります。

今年9月末の町債元金残高（右表）は、一般会計・特別会計合わせて78億5,136万円となり、町民1人当たり（平成24年9月末現在人口12,169人）に換算すると約64万5千円となります。

一方、家計の貯金にあたるのが町の基金です。基金には、財源不足を補う財政調整基金や町の借金返済に充てられる減債基金、ある特定の事業に使われる特定目的基金があり、9月末現在の基金の積立額は約22億74万円で町民1人当たりでは約18万1千円となります。

■町債の借入状況 現在高：78億5,136万円

※町民1人当たり約64万5千円【9月末現在】（昨年度は66万9千円）



■お問い合わせ 役場2階 総務課 財政担当 ☎43-2111(内線2215)まで

※予算書・決算書などは、総務課で閲覧できます。